

## 原料費調整制度に基づくガス料金単価の調整 (平成 20 年 1～3 月検針分)

平成 19 年 10 月 30 日

宮崎ガス株式会社

本日、平成 19 年 7～9 月の LNG 等輸入価格（貿易統計値）が発表されました。

当社は、「原料費調整制度」に基づき、原料価格の変動が基準原料価格の 5% を超えたため、基準単価料金（平成 18 年 4 月改定、平成 19 年 4 月消費税総額表示方式に改定）に対する調整を行うこととなりました。

これにより、平成 20 年 1 月～3 月検針分の従量料金単価は、平成 19 年 10 月～12 月に比べ 1 m<sup>3</sup>（46.04655MJ）当たり 2.4 円（消費税込み）、モデル家庭のガス料金は、1 ヶ月あたり 72 円（消費税込み）の値上げとなります。

平成 20 年 1～3 月検針分に適用するガス料金は、12 月の検針票であらかじめお客様にお知らせいたします。

### (1) 平均原料価格（10 円未満の端数は、四捨五入）

	平成 19 年 4～6 月	平成 20 年 1～3 月	基準平均原料価格
LNG 平均輸入価格 (貿易統計値)	44,540 円 / t	47,130 円 / t	
液化プロパン平均輸入価格 (貿易統計値)	69,080 円 / t	71,660 円 / t	
液化ブタン平均輸入価格 (貿易統計値)	69,470 円 / t	72,410 円 / t	
平均原料価格 (LNG 換算)	45,540 円 / t	48,110 円 / t	40,780 円 / t

$$\text{平均原料価格} = \text{LNG 平均輸入価格} \times 0.9251 + \text{プロパン平均価格} \times 0.043 + \text{ブタン平均価格} \times 0.0197$$

### (2) 原料価格変動額（100 円未満の端数は切り捨て）

$$48,110 \text{ 円 / t} - 40,780 \text{ 円 / t} = +7,300 \text{ 円 / t}$$

### (3) 調整額

平均原料価格が、基準平均原料価格に対して 5%（2,040 円）を超えているので、従量料金単価を調整します。

$$1 \text{ m}^3 \text{ 当たり} \quad +6.74 \text{ 円} \quad (\text{消費税込み}) \quad \text{消費税率}$$

$$(\text{算式}) \quad 0.088 \text{ 円} (100 \text{ 円あたり調整額}) \times (+7,300 \text{ 円} / 100 \text{ 円}) \times (1 + 0.05)$$

（計算結果の小数点第 3 位以下の端数は切り捨て）

(4) 従量料金単価(消費税込み)

\* (算式) 基準単位料金(消費税込み) + 調整額(消費税込み)

13A	基準単位料金	10~12月検針分 (a)	1~3月検針分 (b)	影響額(b-a)
料金表A (0~16m <sup>3</sup> )	237.46円	241.80円	244.20円	+2.4円
料金表B (17~81m <sup>3</sup> )	194.68円	199.02円	201.42円	
料金表C (82m <sup>3</sup> 以上)	177.92円	182.26円	184.66円	
調整額		4.34円	6.74円	

(5) ガス料金への影響(モデル家庭の1ヶ月ご使用例、消費税込み)

1ヶ月のご使用量	10~12月検針分(a)	1~3月検針分(b)	影響額(b-a)
30m <sup>3</sup>	7,373円	7,445円	+72円

モデル家庭の料金の計算方法

ガス料金 = 基本料金(1,402.80円) + 従量料金(201.42円) × 30m<sup>3</sup>

1円未満の端数は切り捨て

(6) ガス料金の計算式

ガス料金 = 基本料金(消費税込み) + 従量料金単価(消費税込み) × 使用量

1円未満の端数は切り捨て

ガス料金表(消費税込み)

平成20年1~3月検針分

	料金表A	料金表B	料金表C
月間使用量	0~16m <sup>3</sup>	17~81m <sup>3</sup>	82m <sup>3</sup> 以上
基本料金(円/月)	718.20円	1,402.80円	2,760.45円
従量料金(円/月)	244.20円	201.42円	184.66円